

# 第1回 発明楽コンテスト 募集要項

## 1 目的

発明楽（はつめいがく）とは、ほとんどの発明は次の4つの基本的な発想スキルで成り立っているという考え方です。

- ① 常識を超える「たし算」（付加）
- ② 常識にとらわれない「ひき算」（小型化）
- ③ 常識を変える「かけ算」（転用）
- ④ 常識をくつがえす「わり算」（逆転）

この4つの発想スキルを使うことにより、社会や暮らしを良くする、あなたにしかできない、あなただけの発明が生まれてきます。

発明楽コンテストでは、次世代を担う生徒・学生の皆さんが自ら考え出した発明の中から、優秀なものを表彰します。特に優秀な発明には企業と連携し製品化・事業化に繋げる支援を想定しています。

## 2 応募内容

(1) 次のいずれかのテーマに関する発明であることが条件です。

### <テーマ1>医療・介護分野

あなたやあなたの身近な方がけがや病気で苦しんでいます。

そんな方の助けになるアイデア（ものや仕組み）を考えてください。

「便利な道具（形のあるもの）」でも「助けになる仕組みやシステム（形のないもの）」でも構いません。

(例)「病院食SNS映像コミュニケーションシステム」

- ・入院している患者さんの食事（病院食）を作っている人が本日の献立の解説や作り方などを映像で紹介するシステム。
- ・献立のQRコードを読み取ると、映像がスマホやタブレットで流れる仕組み。
- ・患者さんはスマホやタブレットから献立の感想などを入力できる。
- ・患者さんは、人が心を込めて作っている姿を見て、“手作り感”を感じる。
- ・病院食の作り手は、患者さんからの感想をダイレクトに受け取ることができる。
- ・つながっているはずなのに、なかなか会えない関係をこのシステムが取り持ち、良いスパイラルからお互いの力となることを期待。

### <テーマ2> SDGs への取組分野

SDGsは簡単に言うと『地球がずっと続いていく』ため2030年までに解きたい、国連が定めた『問題集』です。17の分かりやすいゴール（海の豊かさを守ろう etc）に向かうための具体的な169問が設定されています。私たちも、アイデアひとつでSDGsを達成・推進することが可能です。

例えば、山陰には「紙や竹をプラスチックのように成形できる技術」を開発している会社があります。紙や竹が原料なので、地面や海に捨てられたとして、やがて分解され自然にかえります。そんな素材を活用すれば、プラスチック廃棄問題・環境問題を解決することができるかもしれません。

(例) 紙でできた「スマホケース」、

生分解するプラスチックを使った「魚釣り用ルアー」など

◆参考：外務省HPより

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

- (2) 応募者の創作であること（他人のアイデアではないこと）。
- (3) 公に発表されていないこと。
- (4) 他のコンテストに応募を行っていないこと。
- (5) ただし、上記（3）（4）については、本コンテストの募集開始日前の3ヶ月以内（9月1日から11月30日まで）の間の発表又は応募については除くものとする。

### 3 応募資格

全国の高等学校に在籍する生徒及び高等専門学校に在籍する学生で、1チーム1～5名以内とします。（チームのメンバー構成は、同一校内での編成に限ります。）

### 4 応募期間

2019年12月1日（日）～2020年1月20日（月）（必着）

### 5 応募方法

- (1) 「発明提案書」（別添1）に必要事項を記載し、学校ごとに取りまとめの上、下記の宛先までメールで提出してください。
- (2) 1つの学校から複数チームの応募が可能です。学校ごとの応募チーム数に制限はありません。
- (3) なお、参加希望があるが、学校で他に参加する人がいないなどの理由で、参加の仕方がわからない場合は、下記の宛先までメールでお気軽にお尋ねください。

【応募書類の提出先】宛先：発明楽コンテスト実行委員会事務局（略称：『発コン』事務局）

メールアドレス：[hatsucon@bss.jp](mailto:hatsucon@bss.jp) 電話：0859-33-2139

### 6 実施スケジュール

- (1) 本コンテストの実実施スケジュールは以下のとおりです。

項 目	日 時
募集期間	2019年12月1日(日)～2020年1月20日(月)
一次審査（書面審査）結果発表	2020年2月4日（火）
二次審査（プレゼン審査）	2020年3月25日（水）10：00～14：00
基調講演	2020年3月25日（水）14：00～15：00
表彰式	2020年3月25日（水）15：00～16：00

- (2) 3月25日開催の二次審査、基調講演、表彰式の会場は、「鳥取大学医学部臨床講義棟」です。

### 7 審査方法

- (1) 一次審査

- ・『発コン』事務局において、審査基準（別添2）に基づき書類選考を行い、最大10チーム程度を一次審査の合格者とします。審査結果は、各学校宛てにメールで連絡します。

- (2) 二次審査

- ・一次審査で合格した最大10チームが審査会でプレゼンテーションを行い、審査員による審査、採点の上、各賞の受賞者を決定します。
- ・プレゼンテーションで使用するソフトはパワーポイントとします。パワーポイントのバージョン及びプレゼンテーションの様式等については、一次審査の通過者へ事務局よりご連絡します。
- ・発表時間は8分、質疑応答は5分の予定です。
- ・プレゼンテーションについては、発表者以外の入場も可能ですが、当日は事務局で指定する秘密保持の誓約書を提出していただきます。なお、未成年者については、保護者の同意が必要です。指定様式は本コンテストのWebサイトを御確認ください。

### 8 表彰

区 分	副賞（図書カード）	受賞者数
① 発明楽大賞（優勝）	5万円分	1チーム
② 鳥取県知事賞	1万円分	1チーム

③ 島根県知事賞	1万円分	1チーム
④ 鳥取県商工会議所連合会長賞	1万円分	1チーム
⑤ とりだい病院長賞	1万円分	1チーム
⑥ 鳥取県発明協会会長賞	1万円分	1チーム
⑦ B S S 山陰放送社長賞	1万円分	1チーム
⑧ 発明楽奨励賞	5千円分	1チーム

なお、表彰された発明の中で、特に優れた発明については、企業への紹介を含め、事業化に繋げるフォローも予定しております。

## 9 個人情報及び著作物の取り扱い

本コンテスト及び知的財産制度の普及啓発を図るため、本コンテスト実行委員会では、以下に示す条件の下で応募者の個人情報及び著作物を利用しますので、あらかじめ御了承ください。

### (1) 利用情報の範囲

- ① 発明の名称
- ② 応募者が開示することを了解した範囲での発明提案書の「要約」「発明が解決しようとする課題」「課題を解決するための手段」「期待される効果」「図面」及び二次審査のパワーポイント資料に記載の内容
- ③ 学校名、チーム名、メンバー名（学年を含む）
- ④ 選択したテーマ
- ⑤ 表彰式等の集合写真、プレゼンテーションの写真、ポートレート等のメンバーの写真

### (2) 利用の形態

- ① 表彰式での開示
- ② 主催者又は主催者が許可する者の発行する機関紙、ホームページ等の掲載
- ③ 新聞、テレビ等のマスメディアへの開示
- ④ 主催者による普及啓発活動において学校及び企業等へ提示する資料への掲載

## 10 留意事項

- (1) 応募のあった内容について、各賞を授与する水準に満たないと審査会が判断した場合は、該当者なしとする場合があります。
- (2) 審査結果発表後において、応募資格の違反、盗作及び虚偽の事実等が判明した場合、受賞失格や副賞返還を求める場合があります。
- (3) 参加料は無料ですが、応募に係る経費（資料作成代、調査費、通信料等）については、各自の負担となります。  
ただし、二次審査でプレゼンテーションを行うチームのメンバー（発明提案書に記載されたメンバーに限る。）には交通費（実費相当）を事務局が負担します。（上限1人あたり2万円まで）
- (4) 応募書類は、原則として返却しません。
- (5) 特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）の操作方法、特許制度等がわからない場合は、次の機関に御相談ください。

【 I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口】

◇ 東部地区：0857-52-5894 ◇ 西部地区の窓口：0859-36-8300

## 11 主催 発明楽コンテスト実行委員会

（国立大学法人鳥取大学医学部附属病院、一般社団法人鳥取県発明協会、B S S 山陰放送）

共催 鳥取県、島根県

後援 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県教育員会、島根県教育委員会、一般社団法人島根県発明協会

## 12 問合せ先

『発コン』事務局

住所：〒683-0805 米子市西福原1丁目1番71号（B S S 山陰放送内）

電話：0859-33-2139 メールアドレス：hatsucon@bss.jp